

川は地域の歴史を形成する源泉

講師 県民生活文化課(県史担当) 総括主幹 中園 裕

※「 」は配布テキスト

はじめに ～川は人や物の移動を促す存在～

- ①川は陸路や海路と並ぶ重要な交通手段の一つ。
- ②河岸に道路や鉄道が敷設。人の移動や物流が地域性を生み出す。

1. 三八地域の人間関係を形成～馬淵川 ※「デーリー東北文化圏とは」「国道4号」

- ①青森県南と岩手県北との交流を促す。県境の青岩橋と青岩大橋が象徴。
- ②川の切替で下流域に東北有数の臨海工業地帯を形成。
★政治的な県境より古来からの自然の流れが地域性を規定。

2. 「津軽は一つ」を体現～岩木川 ※「西北の形成」「中南津軽を象徴する川と温泉」

- ①岩木川と支流(平川・浅瀬石川)が西北及び中南津軽の地域性を形成。
- ②岩木川改修運動がつないだ地域性。平川や浅瀬石川河岸の温泉郷。
★流域構造が人の移動や物流を規定。人々の意識にも影響。

3. 「命の水」を提供～奥入瀬川 ※「十和田市を形成した軍馬補充部と湖水」

- ①奥入瀬溪流、水力発電、稻生川疎水、サケ・マス増養殖、上北の飲料水。
- ②奥入瀬川の原点は十和田湖(青森県の心臓)。観光以上に生活に不可欠。
★川の果たす多様性。一般に知られていない側面の宣伝を!

4. 開削事業の恩恵～田名部川と新田名部川 ※「新旧田名部川の大改修」

- ①原始河川と人工河川…洪水対策としての河川改修と放水路の新設。
- ②新旧河川の対比…大橋周辺の景勝と歓楽街、漕艇競技の場。
★自然の脅威を川も体現。克服過程に歴史の教訓。

5. 青森市民の暮らしを支える～堤川 ※「堤町の露店街」「氾濫した堤川」

- ①上流域に温泉、中流域にのどかな空間、下流域に遊郭や露店街。
- ②下湯温泉と堤川沿いの洪水…下湯ダムによる安全と失われた温泉。
★河岸で生活する人たちの歴史をひもとくことも大切。

おわりに ※「青森県に架かる橋」

- ①川は地域の結びつきを支えてきた血流。地域性を確保する栄養源。
- ②洪水対策や河岸開発は地域の重要課題。橋が人の移動や物流を促す鍵。